

研究所番号 :
患者名 :
性別 :
年齢 :
クライアント番号 :

Toxic Metals; Urine 尿有害メタル検査

重金属					
	数値 μg/g クレアチニン	標準 範囲	基準値内	高い	
アルミニウム (Al)	4.2	< 25	-		
アンチモン (Sb)	0.1	< 0.2	-		
ヒ素 (As)	200	< 75	-		
バリウム (Ba)	0.6	< 7	-		
ベリウム (Be)	< dl	< 1	-		
ビスマス (Bi)	1	< 2	-		
カドミウム (Cd)	0.3	< 0.8	-		
セシウム (Cs)	4.2	< 9	-		
ガドミウム (Gd)	< dl	< 0.5	-		
鉛 (Pb)	12	< 2	-		
水銀 (Hg)	8.6	< 3	-		
ニッケル (Ni)	2.1	< 8	-		
パラジウム (Pd)	< dl	< 0.1	-		
プラチナ (Pt)	< dl	< 0.1	-		
テルル (Te)	< dl	< 0.5	-		
タリウム (Tl)	0.4	< 0.5	-		
トリウム (Th)	< dl	< 0.03	-		
錫 (Sn)	210	< 4	-		
タンクステン (W)	0.2	< 0.4	-		
ウラン (U)	< dl	< 0.03	-		

クレアチニン						
	数値 mg/dL	標準 範囲	-2SD	-1SD	MEAN	+1SD +2SD
クレアチニン	105	45 - 230	-	-	-	-

検体データ

コメント:

検体採取日:

pH: Acceptable

採取期間:

検体受託日:

<dl: less than detection limit

量:

検査完了日:

誘発物: DMSA

誘発物:

方法:

ICP-MS クレアチニン by Jaffe Method

測定結果は、尿の希釈による変動に対応するために、クレアチニン濃度が修正されています。

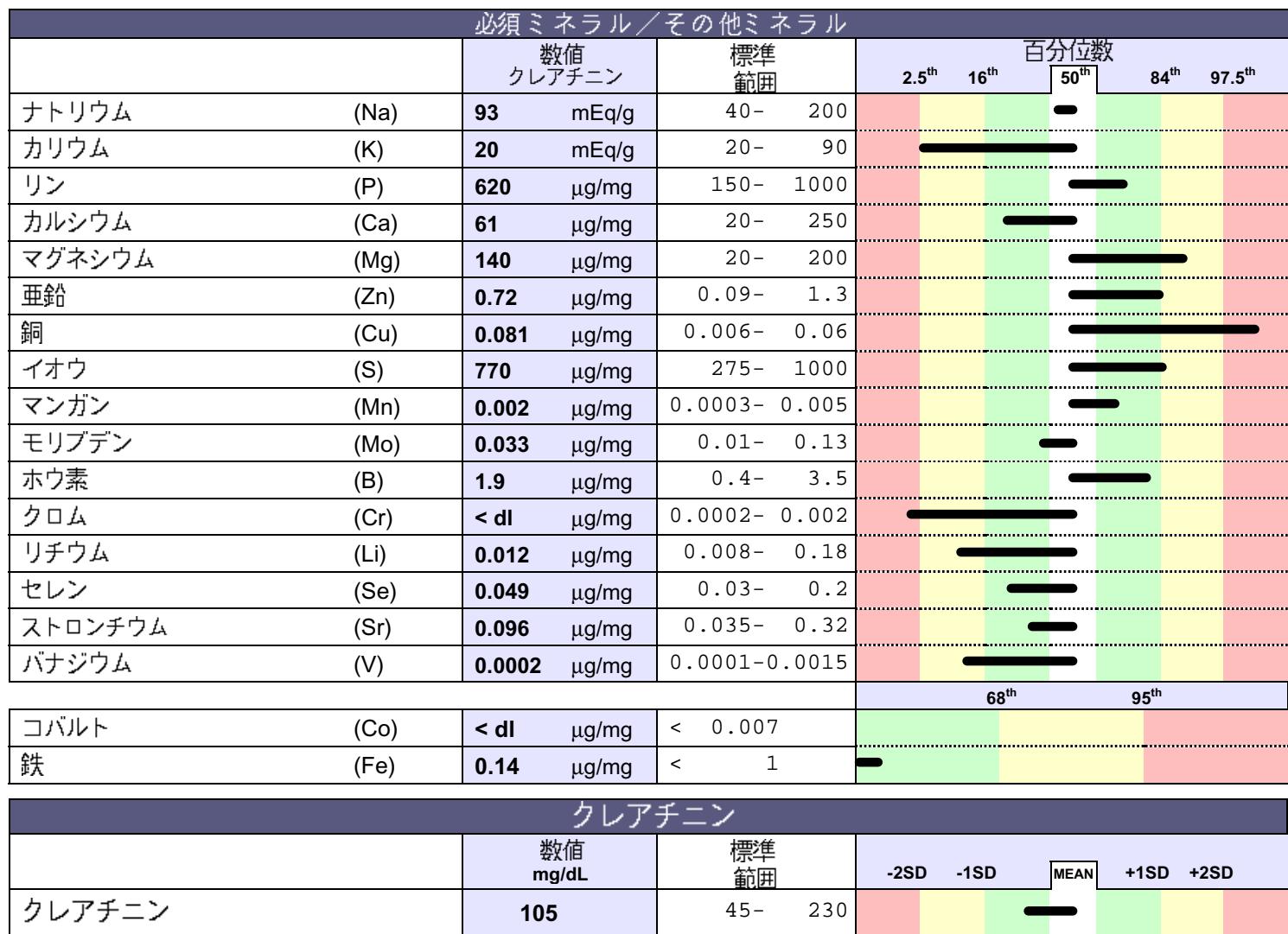
基準範囲とそれに対応するグラフは、非負荷試験下での健常者の数値を表しています。

キレーション(負荷)物質によって、メタル/元素の尿中排泄量が増加することがあります。

研究所番号:
患者名:
性別:
年齢:
クライアント番号:

Essential Elements; Urine

尿必須ミネラル検査



検体データ					
コメント:					
検体採取日:	pH: Acceptable		採取期間:		
検体受託日:	<dl: less than detection limit		量:		
検査完了日:	誘発物: DMSA		誘発物:		
方法: ICP-MS	クレアチニン by Jaffe Method				
測定結果は、尿の希釈による変動に対応するために、クレアチニン濃度が修正されています。 基準範囲とそれに対応するグラフは、非負荷試験下での健常者の数値を表しています。 キレーション(負荷)物質によって、メタル/元素の尿中排泄量が増加することがあります。					